

## 「FIT 友の会」森林インストラクター資格取得支援講座

### 「林業 - 講義」

2020年6月7日(日) 晴れ 調布あくろす

「FIT 友の会」主催の森林インストラクター資格取得支援講座「林業-講義」を調布あくろすに於いて、関さんを講師に迎えて実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて当初の計画より 2 ヶ月遅れで、資格取得支援講座を開始しました。感染防止の為、参加者の体調確認と海外渡航者や感染確認者との濃厚接触の有無を確認し、会場には手指消毒用アルコール、除菌用ティッシュ、予備の不織布マスクを準備し、窓と入口ドアを開放し座席間隔を従来の 2 倍にとり、全員マスク着用で実施しました。

講師から”今日は細かい内容を覚えなくても良い、林業の科目全体のイメージを掴み、林業は面白いと感じてほしい”の説明からスタート。「木と樹と材」について、木偏の漢字〔機械は金偏でなく木偏〕森と人の関連〔人偏に木で休む、Forest は For rest〕、法隆寺の宮大工の「生きて千年、材で千年」の話があり、木や樹木に対して興味が湧きました。

また、資格取得には「合格する強い思い」や、受験勉強は楽しく体系的・効率的にやる、受験ではとにかく回答を書くことが大事と、資格取得を目指す参加者にとって大変有用な言葉がありました。



入口ドアを開放し座席を空けて実施



インストラクションに使える話題がいっぱい

講義は「林業」の 6 つの項目についてデータや写真を沢山使ったスライドを使用して行いました。午前と午後で約 6 時間に亘る座学でしたが、「林業」の試験に関わる項目だけでなく「山にあるスギ一本の値段は?」「林家の収支、相続問題」「割りばしと環境問題」「木は魔法の素材」など、森林インストラクターになってからインストラクションに使える木や林業に関わる面白い話題が沢山ある楽しい講義でした。

資格取得を目指す会員にとって「林業」科目に出てくるキーワードは普段使う機会が少ない専門的な用語が多く、なかなか手強い科目ですが、今回の講義で科目全体のイメージを掴み、林業は面白いと感じて、楽しみながら学習を進めて頂きたいと思います。

参加者：会員・・氏家さん、高橋さん、保科さん、山本さん、三井さん、  
一般・・田中さん、長谷川さん

講師：関 美知夫さん

スタッフ：芝原 久さん(写真)

(報告：FIT 友の会運営部会 槇田幹夫)





感染防止①：手指消毒剤と除菌ティッシュ



感染防止②：窓を開けて、マスク着用



林業は楽しい！：映画になった



グラフで解説：林業従事者の推移



ホワイトボードで解説：樹木の好きな処



林業の実際：急斜面での植樹